

WMO/IUGG 数値予報シンポジウム

本年11月26日(火)から12月4日(水)までの9日間、気象庁講堂において、WMO/IUGG 共催による数値予報シンポジウムが開催される。

このシンポジウムを日本に招請するに到った経緯を簡単にふれると、WMO の執行委員会第18会期(1966年)において、数値予報に関するシンポジウムを1967年に開催することが合意されたが、IUGG (国際測地学地球物理学連合)が1967年の総会中に予定しているシンポジウムとかちあうため、1968年に延期され、一方招請国については、WMO からの数次にわたる要請に答えて、日本に決定したものである。

このため、気象庁においては、まず準備委員会(委員長:北岡予報部長)を組織し、招請国としての受け入れ準備をすすめているが、WMO/IUGG としても、シンポジウム企画委員会を組織し、議長には CAS/GSM 合同数値予報作業委員会議長の Dr. B. R. Döös (ストックホルム大学)を、委員には ICDM (国際気象力学委員会)代表として Dr. E. Knighting (イギリス気象

局)、WMO 代表として Mr. G. W. Kronebach (WMO 事務局)、招請国代表として Dr. T. Kitaoka (日本気象庁)をそれぞれ指名し、主催者としての企画作業に着手している。

開催通知は、すでに WMO 事務局長から加盟国の常任代表あてに発せられており、8月26日までに出席者名を WMO 事務局長へ通知するとともに、論文提出者は200語以内のアブストラクト(4部)を Dr. B.R. Döös あてに送付することになっている。

また、IAMAP (国際気象大気物理学協会)の Dr.V. L. Godson が IUGG 関係の国内委員会との連絡を担当することになっている。

なお、シンポジウムの各議題およびそれぞれの担当議長は、企画委員会によって次のように企画され、現在各予定者の了解を求めると折衝中である。研究発表その他の詳細は、気象庁北岡予報部長あてに照会いただきたい。(北岡竜海)

I. Physical basis for numerical weather prediction.

Statistical representation and effects of small scale turbulence. Parameterization of physical processes in the atmosphere. Basic problems in dynamic meteorology.

Chairmen: J. Charney (Introd.)

C. H. B. Priestley

Y. Ogura

II. Mathematical models of the atmosphere for short range and medium range forecasting and models for special phenomena (e. g. frontal motions).

Chairmen: A. Eliassen (Introd.)

E. Knighting

K. Gambo

F.H. Bushby

III. Mathematical models for forecasting in the tropics; typhoon and hurricane formation.

Chairmen: M. Yanai (Introd.)

S. Syono

H.L. Kuo

IV. Mathematical models for long range forecasting and numerical simulation of the general circulation.

Chairmen: N. Phillips (Introd.)

R. Fjörtoft

E.M. Döbrishman

V. Numerical experiments to determine the requirements on a global observing system and the predictability of the atmosphere.

Chairmen: E. Lorenz (Introd.)

M. Alaka

VI. Definition of the initial state in numerical weather prediction.

Chairmen: L.S. Gandin (Introd.)

T. Nitta

VII. Mathematical and numerical procedures.

Chairmen: K. Hinkelmann (Introd.)

G.I. Marchuk

G. Platzman

F. Shuman